

memo

がんよろず相談 in 神戸

大腸がんと言われた時

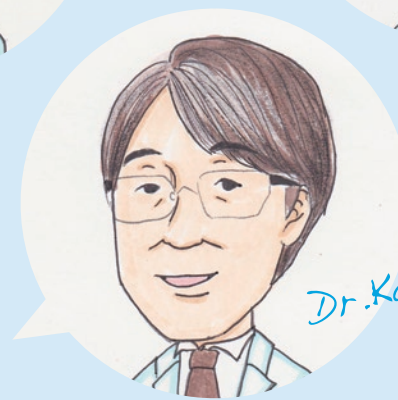
～専門医による治療の最前線～



Dr. Kakeji



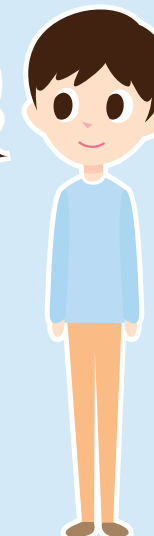
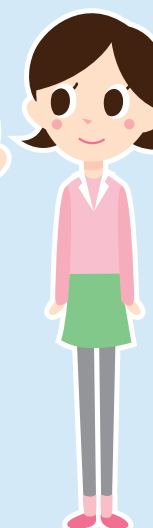
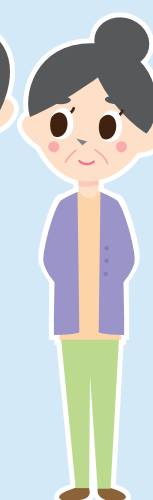
Dr. Kotaka



Dr. Katoh



Dr. Tsuji



4.19.土 13:30 ~ 15:30 会場 神戸新聞松方ホール
開場13:00 (神戸市中央区東川崎町1-5-7)

主催: 神戸新聞社 共催: 武田薬品工業

🧪🧪🧪🧪🧪🧪🧪🧪🧪🧪🧪🧪🧪🧪🧪🧪

はじめに

Introduction

1981年以来、がんが日本人の死因の第1位を続けています。現在、がんで亡くなった方は第2位の心疾患の約2倍にのぼり、日本人の3人のうち1人はがんがもとで亡くなっています。

なかでも、大腸がんは食生活の欧米化や、生活習慣の変化などの影響もあり、年々増加しています。2010年現在、男性のがん死者数の中で大腸がんは、肺がん、胃がんに次いで第3位を占め、女性では2003年以来、第1位を続けています。かかった人の数はその約2.5倍にのぼります。

大腸がんになった時にどうしたらいいのか?ご自身やご家族のことで悩まれている方、将来に不安を持たれている方もいると思います。今日はこの会に参加していただき、皆さんが大腸がんについて知識を深め、いろいろな不安や悩みなどを少しでも解決していただければと思っております。一緒に学んでゆきましょう。



🎯🎯🎯🎯🎯🎯🎯🎯🎯🎯🎯🎯🎯🎯🎯🎯

プログラム

Program

- 13:30 開会挨拶** 辻晃仁氏 神戸市立医療センター中央市民病院・腫瘍内科部長・がんセンター長
- 13:40 講演①「大腸がんの現在、過去、未来」**
●講師：加藤健志氏 関西労災病院・下部消化器外科部長 ●司会：辻晃仁氏
- 14:05 講演②「大腸がんを斬る」**
●講師：小高雅人氏 佐野病院・消化器がんセンター長 ●司会：加藤健志氏
- 14:30 ~休憩~**
- 14:45 よろず相談「大腸がんになったらどうすればいいの? ~うわさと真実~」**
●講師：辻晃仁氏 ●司会：掛地吉弘氏 神戸大学大学院・食道胃腸外科学教授
- 15:10 まとめ「みんなで取り組む大腸がん治療」**
●講師：掛地吉弘氏
- 15:30 閉会**



🏢🏢🏢🏢🏢🏢🏢🏢🏢🏢🏢🏢

ゲスト紹介

Guest



掛地 吉弘 先生
神戸大学大学院 食道胃腸外科 教授

専門分野 食道がん、胃がん、大腸がんの手術・化学療法

1961年福岡県北九州市小倉生まれ。1987年九州大学医学部卒。1994年九州大学にて学位取得。1994年米国ハーバード大学 Dana-Farber 癌研究所(抗癌剤耐性の部門)。2002年九州大学腫瘍センター講師。2003年九州大学先端医工学診療部助教授。2005年九州大学消化器・総合外科助教授。2012年より現職。



加藤 健志 先生
関西労災病院 下部消化器外科 部長

専門分野 大腸外科、腹腔鏡下手術、化学療法、内視鏡診断・治療など

1964年和歌山県田辺市生まれ。1989年関西医科大学医学部医学科卒。1997年大阪大学大学院医学系研究科修了。1989年関西医科大学卒業後、国立大阪病院外科。1990年大阪大学 第2外科(現・消化器外科)入局。1992年大阪通信病院外科医員。1993年大阪大学医学部附属病院 第2外科研究生。1999年箕面市立病院胃腸センター外科医長。2003年箕面市立病院外来点滴センター長。2008年箕面市立病院外科部長・内視鏡センター長。2010年箕面市立病院がん診療推進部長。11年より現職。



小高 雅人 先生
医療法人薫風会 佐野病院 消化器がんセンター長

専門分野 大腸がんをはじめとする消化器がんの手術、大腸がんの化学療法

1969年大阪府堺市生まれ。1997年高知医科大学(現・高知大学医学部)卒。1997年高知県立中央病院(現高知医療センター)外科。2001年国立がんセンター東病院大腸骨盤外科。2007年佐野病院 消化器センター長。2013年佐野病院 消化器がんセンター長より現職。



辻 晃仁 先生
神戸市立医療センター中央市民病院
がんセンター長 外来化学療法センター長 腫瘍内科部長

専門分野 消化器がんをはじめとする各種がんの化学療法、チーム医療、外来化学療法、医療連携、新薬の臨床試験など

1962年高知県高知市生まれ。1990年岡山大学医学部医学科卒。1994年岡山大学大学院医学研究科修了。1995年高知県立中央病院(現・高知医療センター)内科医長・消化器科医長。2005年高知医療センター腫瘍内科科長(消化器科医長兼務)。